

## 第5章 具体的取組

---

- 基本目標1 ふれあい、支え合い、助け合いの輪が広がる地域づくり
  - 基本目標2 安全・安心な暮らしやすいまちづくり
  - 基本目標3 地域福祉を推進するためのしくみづくり
- 重点事業一覧



## 第5章 具体的取組

### 基本目標1 ふれあい、支え合い、助け合いの輪が広がる地域づくり

#### 基本的方向性

- 活発な世代間交流ができる場と機会のある地域
- 隣り近所と強い絆で結ばれた地域

#### (1) 現状と課題

- ・「地域」を「自治会」と捉える方が 33.4%で最も多くなっていますが、10～20 歳代の若い世代では、「下野市全域」を地域と捉える方が最も多く、世代による違いが現れています。地域での交流を考える際には、世代間の意識の差も考慮する必要があります。
- ・今住んでいる地域に愛着が「ある程度ある」「大いにある」との回答は 63.7%に達していますが、前回調査からはやや少なくなっています。愛着を感じる理由として最も多い「安心して住めるから」の市民意識が更に高まる地域づくりが求められます。
- ・住民懇談会では、地域づくりに関して、子ども、高齢者、障がい者も含めた世代間交流を推進することが必要とのご意見とともに、交流の場がない地域があること、場があっても参加者が少ないとの指摘もされています。参加対象となる人の目線に立った交流の機会づくりが重要となっています。

#### (2) 今後の取組

- ① ふれあい交流の促進

##### 私たちが取り組むこと

- 一人ひとりが進んであいさつをしましょう。
- 「ありがとう」などの言葉があふれるまちにしましょう。
- 世代間交流の機会を地域で積極的にもちましょう。
- 地域で開催されるふれあい交流イベントに積極的に参加しましょう。
- ふれあいサロン、ミニサロンのボランティアに参加しましょう。
- すべての市民が下野市を創る主人公になりましょう。

##### 市が取り組むこと

- 自治基本条例に基づく「市民が主役のまちづくり」の推進
- 世代間の交流活動活発化のための支援
- 世代間交流を通じた地域の活動の場づくりと地域で開催される交流活動への支援
- 高齢者が気軽に集まれるふれあいサロンの増設及び運営のボランティア活動の推進
- スポーツを通じた交流の推進

**社会福祉協議会が取り組むこと**

■ 身近な地域で住民同士が気兼ねなくお互いの人間関係を深めることができるよう、地域のイベントや行事等への参加を促進することで、活発な交流活動の展開を推進します。

【具体的事業】

- ふれあいふくし運動会の開催（市共催事業）
- ふれあいサロンの充実
- ミニサロン事業の推進（新規事業）（市受託事業）
- 花まつり招待事業の開催（市観光協会共催）
- しもつけふくしフェスタの開催 **★ 重点事業**
- 親子ふれあい事業の開催
- 障がい児者交流事業の開催
- 三世交代流事業の実施 **★ 重点事業**
- 障がい者スポーツ教室の実施

◎ 事業概要と目標の内容

事業名	ふれあいふくし運動会の開催（市共催事業）					
事業概要	子どもや高齢者、障がいのある方たちが一緒にスポーツを楽しみ、健康維持と地域社会との親睦・交流を深めるため、老人クラブ・身体障害者福祉会・心身障がい児者父母の会・園児などが参加して運動会を開催します。					
目標の内容 *年度ごとの 数値は参加者 数です。	基準値	目標値				
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	1,260名	1,300名	1,340名	1,380名	1,420名	1,460名
	《継続実施》 参加者数の拡大についても検討しながら、事業内容の更なる充実を図ります。					

事業名	ふれあいサロンの充実
事業概要	地域サロンの新規開設につながるよう、地域の担い手になるボランティアの育成に努めます。
目標の内容	《継続実施》 ボランティア活動者の確保に努め、事業内容の更なる充実を図ります。

事業名	ミニサロン事業の推進（新規事業）（市受託事業）
事業概要	高齢者が介護を必要とする状態になることを予防し、健康で生き生きとした生活が送れるよう支援します。
目標の内容	《新規実施》 サロン活動を通し、参加者の健康づくりや仲間づくりを応援します。

事業名	花まつり招待事業の開催（市観光協会共催）
事業概要	民生委員・児童委員や花まつり出店会の協力を得て、市内の福祉施設利用者を天平の花まつりに招待し、地域との交流と親睦を図ります。
目標の内容	《継続実施》 市観光協会と連携し、事業内容の更なる充実を図ります。

事業名	しもつけふくしフェスタの開催 ★重点事業					
事業概要	市民の地域福祉に対する理解を深めるため、人と人のふれあいの場を提供し、あたたかいまちづくりを目指して「しもつけふくしフェスタ」を開催し、ボランティア活動や社協事業等の PR を行うとともに下野市の地域福祉活動のより一層の充実を図ります。					
目標の内容 *年度ごとの 数値は参加協 力団体数です。	基準値	目標値				
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	20団体	21団体	22団体	23団体	24団体	25団体
	《継続実施》 しもつけふくしフェスタ検討委員会で協議を深め、内容の充実や見直しを図りながら、参加者の満足度の向上を目指し魅力あるイベントとします。 また、子どもからお年寄りまでの世代間交流や障がいを持つ人たちとの心のふれあいを通じ、地域福祉に関する市民意識の高揚と思いやりの心の醸成を図ります。					
事業名	親子ふれあい事業の開催					
事業概要	親子や仲間が互いに協力し、イベントを通して福祉を身近に感じることで、相手を思いやる心を育てることを目的に実施します。					
目標の内容	《継続実施》 親子で楽しく体験しながら、福祉について学ぶ機会を提供します。					
事業名	障がい児者交流事業の開催					
事業概要	障がい児者（身体・知的・精神）とその家族を対象に、レクリエーション・ゲーム等を通じて交流と親睦を深めることを目的に実施します。					
目標の内容	《継続実施》 障がいのある方たちの情報交換や交流の場を提供します。					
事業名	三世代交流事業の実施 ★重点事業					
事業概要	地域住民がふれあいや交流の場を通して、日頃から顔見知りになり、お互いを支え合える地域づくりを進めます。					
目標の内容 *年度ごとの 数値は実施地 区社協数です (累計値)。	基準値	目標値				
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	0	1か所		2か所		3か所
	《継続実施》 平成 29 年度以降に設置を目指す地区社協の事業の一環として、世代を超えた心の交流を図り、地域においていざという時に助け合い、支え合うきっかけづくりを進めます。					
事業名	障がい者スポーツ教室の実施					
事業概要	障がい（身体・知的）のある方の健康と体力の維持と、障がい者向けのスポーツの普及・啓発を目的に実施します。					
目標の内容	《継続実施》 スポーツを通じた参加者の健康づくりと交流促進を図ります。					

◎ 地域交流の場となる拠点づくり

私たちが取り組むこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティセンター*<sup>20</sup>、公民館などの地域資源を有効に使いましょう。</li> <li>○自治会活動や地区で行われるお祭りや行事に楽しみながら参加しましょう。</li> <li>○お互いにお茶飲みにいけるような隣り近所の関係をつくりましょう。</li> <li>○既存の施設を活用して交流のできる集いや行事を企画しましょう。</li> <li>○交流の機会に参加してよかったことや感想を多くの人に伝えましょう。</li> </ul>

市が取り組むこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の実情や状況に応じた公共施設の開放と有効活用の推進</li> <li>○施設利用手続きの平易化・簡素化による利用の促進</li> <li>○相談支援センターや地域活動支援センターなどの障がい者施設の整備と支援体制の強化</li> <li>○コミュニティ活動の拠点となるコミュニティセンターの運営支援を通じたコミュニティ活動の振興</li> </ul>

社会福祉協議会が取り組むこと						
<p>■ 市民誰もが気軽に集まり活動することができるよう既存施設等を市民の活動拠点として有効活用していきます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民活動の拠点づくり</li> </ul> <p>◎ 事業概要と目標の内容</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">事業名</td> <td>市民活動の拠点づくり</td> </tr> <tr> <td>事業概要</td> <td>市民主体によるきめ細かな地域福祉活動を推進するための拠点として、既存施設等を活用していきます。</td> </tr> <tr> <td>目標の内容</td> <td>《継続実施》 市の遊休施設等の活用について、市と連携しながら進めます。</td> </tr> </table>	事業名	市民活動の拠点づくり	事業概要	市民主体によるきめ細かな地域福祉活動を推進するための拠点として、既存施設等を活用していきます。	目標の内容	《継続実施》 市の遊休施設等の活用について、市と連携しながら進めます。
事業名	市民活動の拠点づくり					
事業概要	市民主体によるきめ細かな地域福祉活動を推進するための拠点として、既存施設等を活用していきます。					
目標の内容	《継続実施》 市の遊休施設等の活用について、市と連携しながら進めます。					



しもつけふくしフェスタ

\* 20 地域において、市民活動やボランティア活動などを促進するための拠点となる施設。

◎ 地域を支え、育むコミュニティづくり

私たちが取り組むこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>○自治会の活動に関心を持ち自治会に加入しましょう。</li> <li>○自治会の行事や会合に積極的に参加し、地域について考える機会を持ちましょう。</li> <li>○地域をみつめ直す機会を持ち、近所の人と「まちづくり」について話してみましょう。</li> <li>○地域の課題や困りごとを解決に向けて仲間と一緒に取り組みましょう。</li> <li>○子どもや若者に地域の自慢や歴史、伝統行事を伝えていきましょう。</li> <li>○コミュニティ推進協議会及び地区社会福祉協議会の組織づくりに参画しましょう。</li> </ul>

市が取り組むこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>○自治基本条例に定める「協働によるまちづくり」の推進</li> <li>○自治会との連携強化と自治会の意義のPR</li> <li>○地域情報のきめ細やかな提供</li> <li>○転入者に対する市の窓口やホームページを活用した自治会等の地域活動を行う組織の紹介や情報提供</li> <li>○コミュニティ活動の拠点となるコミュニティセンターの運営支援を通じたコミュニティ活動の振興</li> <li>○地区社協を主軸とする社会福祉協議会活動の後方支援</li> </ul>

社会福祉協議会が取り組むこと						
<p>■ 住み慣れた地域でより安心して住み続けるため、地域住民による支え合いのしくみづくりを構築し、地区社協を主軸とする市民の地域活動を支援します。</p>						
<p>【具体的事業】</p> <p>○地区社協を主軸とした地域コミュニティとの連携 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">★ 重点事業</span></p>						
<p>◎ 事業概要と目標の内容</p>						
事業名	地区社協を主軸とした地域コミュニティとの連携 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">★ 重点事業</span>					
事業概要	地域住民が主体となる地域福祉活動の推進を図る基礎組織である地区社協を整備し、地域の生活・福祉課題に対応できるしくみづくりを図るため、地域コミュニティを中心とした地区社協の設置を推進します。					
目標の内容 *年度ごとの 数値は設置地区 社協数です (累計値)。	基準値	目標値				
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	0	1か所		2か所		3か所
<p>《継続実施》</p> <p>市民による自主的な福祉活動を推進するため、地域コミュニティと連携しながら、現在は未整備である地区社協を5年の計画期間で南河内・石橋・国分寺の3地区に1か所ずつ設置を目指します。</p>						

④ 支え合いネットワークの充実

**私たちが取り組むこと**

- 大人が子どもや若者に関心をもち、大人から「あいさつ」をしましょう。
- 向こう三軒両隣の関係づくりをすすめましょう。
- 「お互い様」の気持ちを持って、地域の見守り活動をしましょう。
- 支援が必要な人がいる時には、自分は何ができるか考えて行動しましょう。
- 高齢者や障がい者などを理解する研修会や行事に参加しましょう。

**市が取り組むこと**

- 「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」の推進
- 地域包括ケアシステム<sup>\*21</sup>の構築
- 生活支援コーディネーターの活動支援と生活支援体制整備事業の充実
- ひとり暮らし高齢者への「安否確認システム」の貸与や、ごみ出しが困難な高齢者等の見守りを兼ねたごみ出しの実施
- 地域社会全体で高齢者を見守るためのネットワークづくりと拡大
- 自治会や民生委員・児童委員、関係機関等と連携した支援を必要とする人の把握

\*21 高齢者の在宅生活の維持に必要な医療、介護、生活支援などを一体的に提供する仕組。



### 社会福祉協議会が取り組むこと

- 地域での支え合いネットワークを構築し、地域住民がお互いに支え合い、助け合う地域づくりを目指します。

#### 【具体的事業】

- 登下校時における子どもたちの見守り活動の実施
- 地域包括支援センター事業の実施（市受託事業）
- 地域支援事業<sup>\*22</sup>への取組（新規事業）（市受託事業） **★ 重点事業**

#### ◎ 事業概要と目標の内容

事業名	登下校時における子どもたちの見守り活動の実施
事業概要	児童の交通安全や犯罪防止活動の一環として、関係機関・団体と連携し、地域ぐるみの通学路等の見守り活動を推進します。
目標の内容	《継続実施》 ボランティア活動者の確保に努め、事業内容の更なる充実を図ります。

事業名	地域包括支援センター事業の実施（市受託事業）
事業概要	地域で暮らす高齢者が安心して在宅生活を送れるよう支援するため、総合的な相談や助言、関係機関との連絡調整を行います。
目標の内容	《継続実施》 地域での活動を通して広報啓発に努めるとともに、様々な関係者と密接な連携を図っていきます。

事業名	地域支援事業への取組（新規事業）（市受託事業） <b>★ 重点事業</b>
事業概要	地域包括ケアシステムの構築に向け、行政・関係機関との連携を図りながら、市民が主体となり地域福祉活動が展開できるよう組織づくりを推進するなど、地域で支え合える体制の整備に向けた取組を始めます。
目標の内容	《新規実施》 市と綿密な連絡調整を行いながら、円滑な事業実施を図ります。

\*22 介護保険制度で、被保険者が要介護状態などになることを予防するために市町村が行う事業。

## 基本目標2 安全・安心な暮らしやすいまちづくり

### 基本的方向性

- 市民が安心して暮らせると実感できるまち
- 防犯・防災に市民、団体、市が協働で取り組むまち
- 市民の持つ経験や潜在力が活かされるまち

### (1) 現状と課題

- 約3割の人は「緊急時の対応体制がわからない」ことを地域の問題点としてあげています。その一方、ほぼ4割の人は「防犯や防災など地域の安全を守ること」は地域住民が取り組むべき課題であると考え、懇談会では地域での避難訓練や自主防災組織の立ち上げも必要であるとの意見が出されました。防犯・防災に関して、当事者としての意識を具体的な活動へつなげるための取組が求められます。
- 高齢者など、豊かな知識や経験を持つ人にまちづくりで活躍いただくことが、住民懇談会で提起されています。高齢者が活躍できる場をつくる際には、取り組むための移動手段の確保についても同時に配慮することが必要とされます。
- 地域活動やボランティア活動に積極的に取り組んでいる人とたまに取り組むことがある人は、合わせても市民の2割強に留まっていますが、ほぼ5割の人は、機会があればボランティア活動に取り組んでもよいと考えています。そうした人が地域活動やボランティア活動に無理なく入っていけるきっかけづくりが必要です。

## (2) 今後の取組

### ① 福祉サービスの充実

#### 私たちが取り組むこと

- どんな福祉サービスがあるのか関心を持って地域社会をみつめてみましょう。
- 地域のなかで困っている人の相談にのり、関係者や関係機関を紹介しましょう。
- どうしたら福祉サービスがよりよいものになるか、みんなで話し合ってみましょう。
- 「人として生きる権利」は平等であるという人権意識をお互いに認識しましょう。
- 家庭で「福祉」について話し合う機会をつくりましょう。

#### 市が取り組むこと

- 介護保険事業の円滑な推進
- 地域包括ケアシステムの構築
- 地域社会全体で高齢者を見守るためのネットワークづくりと拡充
- 障がい者の地域での自立生活の推進を図るための生活サポート事業の実施
- 子ども、妊産婦、重度心身障がい者、ひとり親家庭等への医療費の助成
- 安心した子育てのための地域子ども・子育て支援事業の推進
- 生活困窮者への情報提供と助言を通じた自立支援



介護保険事業所  
(デイサービスセンター)

**社会福祉協議会が取り組むこと**

- 地域住民が適切な福祉サービスの利用、活動へ参加ができるようサービスの提供体制づくりを推進します。

【具体的事業】

- 介護保険事業（居宅・訪問・通所介護）の実施
- 障害者総合支援法<sup>\*23</sup>（居宅介護等）事業の実施
- 日常生活自立支援事業（あすてらす）における相談の実施
- 就労継続支援B型事業の実施
- 生活福祉資金貸付事業の実施
- 小口資金貸付事業の実施
- 福祉用具等の貸出し事業の実施
- 手押し車の購入助成

◎ 事業概要と目標の内容

事業名	介護保険事業（居宅・訪問・通所介護）の実施
事業概要	居宅介護支援・訪問介護・通所介護事業運営を行い、在宅福祉サービスを実施します。
目標の内容	《継続実施》 住み慣れた地域で安心して日常生活が送れるよう、一人ひとりのニーズに応じた良質なサービスの提供に努めます。

事業名	障害者総合支援法（居宅介護等）事業の実施
事業概要	訪問介護としてヘルパーが障がい者の家庭を訪問し、身体介護や家事援助、外出時の移動支援を行い、地域福祉の向上を図ります。
目標の内容	《継続実施》 住み慣れた地域で安心して日常生活が送れるよう、一人ひとりのニーズに応じた良質なサービスの提供に努めます。

事業名	日常生活自立支援事業（あすてらす）における相談の実施
事業概要	高齢・障がい等により判断能力が低下した人に対して、日常的な金銭管理を代行することにより在宅での安心な生活を提供します。また、契約型の福祉サービスにおいて利用者に不利益が生じないように、情報提供や、サポート、書類等の管理サービスを行います。
目標の内容	《継続実施》 更なる事業の普及や利用の促進を図ります。

事業名	就労継続支援B型事業の実施
事業概要	心身の障がいにより一般就労することが困難な在宅の障がい者に通所による生活・作業訓練を行い、創作活動や生産活動の機会の提供及び社会との交流や地域生活支援の促進を図ります。
目標の内容	《継続実施》 利用者一人ひとりが意欲と達成感を感じられるよう支援を行うとともに、利用者の拡充に努めます。

\*23 地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための法律。

事業名	生活福祉資金貸付事業の実施
事業概要	低所得者世帯等の経済的自立と生活意欲の向上を支援するため、各種資金の貸付を行います。
目標の内容	《継続実施》 生活困窮者の自立の促進を目指し支援します。
事業名	小口資金貸付事業の実施
事業概要	緊急に生計の維持が困難になった下野市内の世帯に対し、小口資金（上限3万円）を貸し付けることにより、経済的自立及び生活の安定を目指した支援を行います。
目標の内容	《継続実施》 生活困窮者の自立の促進を目指し支援します。
事業名	福祉用具等の貸出し事業の実施
事業概要	社協が保有する福祉用具や備品を地域交流や福祉推進に有効活用してもらうため貸出しを実施します。
目標の内容	《継続実施》 更なる事業の普及や利用の促進を図ります。
事業名	手押し車の購入助成
事業概要	高齢者の日常生活の便宜を図るとともに健康管理の増進に寄与することを目的に、手押し車の購入費の一部を助成します。
目標の内容	《継続実施》 更なる事業の普及や利用の促進を図ります。



就労継続支援 B 型事業所



② 健康づくりの推進

**私たちが取り組むこと**

- 定期的に健康診断を受け、自分の健康状態を確認しておきましょう。
- 健康づくりに関心を持ち、講演会や健康講座、体育行事に参加しましょう。
- 症状や状態に応じて、適切な医療機関を受診するようにしましょう。
- かかりつけ医<sup>\*24</sup>、家庭医をもちましょう。
- 手洗い、うがいの励行、予防接種を積極的に受け感染症予防に努めましょう。

**市が取り組むこと**

- 充実した医療環境を活かした市民一人ひとりが健康に暮らせるまちづくりの推進
- 健康増進事業の充実
- 母子保健事業・母子支援事業の充実
- 適正受診のあり方やかかりつけ医の必要性について啓発
- 感染症予防のための、予防接種事業の充実
- 健康維持メディカルトレーニング施設の充実

<sup>\*24</sup> 患者の初期症状の治療や、家族ぐるみの日常的な健康管理にあたっている医師のこと。

**社会福祉協議会が取り組むこと**

- 市民が生涯を元気で過ごすために体力づくりや健康維持のための講座を開催し、健康づくりを推進します。

【具体的事業】

○ 地域住民への健康講座の実施（市委託事業）

◎ 事業概要と目標の内容

事業名	地域住民への健康講座の実施（市委託事業）					
事業概要	地域包括支援センターと連携し、介護予防の一環として、高齢者等を対象に元気になる食事やストレッチ、認知症サポーター養成講座* <sup>25</sup> 等の健康講座を地域に出向き開催します。					
目標の内容 *年度ごとの 数値は受講者 数です。	基準値	目標値				
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	2,500名	2,600名	2,700名	2,800名	2,900名	3,000名
	《継続実施》 地域ぐるみの健康・体力づくりを支援します。					



健康講座（認知症予防）



健康講座（元気はつらつ体操）

\* 25 認知症の知識を身につけ地域の認知症患者をサポートする人を養成するための講座。



◎ 防犯・防災体制の充実

**私たちが取り組むこと**

- 地域のつながりを大切にし、普段から顔見知りの関係をつくりましょう。
- 防犯や防災について関心を持ち、室内の安全確保、家具の固定などをしましょう。
- 緊急通報先や避難場所など、万が一の場合の体制について家庭で話し合いましょう。
- 非常用持ち出し袋、非常食や非常用物資などを備蓄し、準備しておきましょう。
- 地域や自治会などで危険な場所の点検などを行い、関係機関に連絡をとりましょう。
- 防災訓練に積極的に参加しましょう。
- 災害ボランティア養成講座や災害ボランティア活動などに積極的に参加しましょう。
- 避難行動要支援者の避難がスムーズに行えるように支援しましょう。
- 災害発生時には地域に対し労力提供や物資提供などを進んでみましょう。

**市が取り組むこと**

- 緊急医療体制の充実
- 避難行動要支援者名簿への登録の推進と民生委員・児童委員への情報提供の強化
- 自主防災組織設置への支援を通じた地域の防災力の強化
- 防災団体・関係機関との連携の強化
- 防犯・防災意識の高揚のための啓発活動の推進
- 地域ぐるみの学校安全体制の推進
- 地域で活動する団体の活動内容の把握と活動の支援並びに関係機関との連携の強化



市総合防災訓練



### 社会福祉協議会が取り組むこと

- 平常時から災害・緊急時に備えるとともに、住民同士が助け合えるような仕組・関係を構築します。

#### 【具体的事業】

- 災害時対応マニュアルの実践
- 災害ボランティア養成講座の開催
- 災害ボランティアセンターの設置・運営 ★ 重点事業
- 災害時の支援体制づくり

#### ◎ 事業概要と目標の内容

事業名	災害時対応マニュアルの実践
事業概要	災害時にボランティア団体と連携し、迅速かつ十分な福祉救助活動・ボランティア活動支援を行うことができるよう、災害時対応マニュアルの実践と継続的な見直しを行います。
目標の内容	《継続実施》 災害時に、迅速かつ十分な福祉救援活動やボランティア支援活動ができるよう、2年毎にマニュアルの見直しを行います。

事業名	災害ボランティア養成講座の開催					
事業概要	災害時におけるボランティア活動の基礎的な知識と役割を学び、災害ボランティアについて理解を深め、地域での災害時に備え助け合いの意識を高めることを目的に開催します。					
目標の内容 *年度ごとの 数値は延べ受 講者数です。	基準値		目標値			
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	180名	200名	220名	240名	260名	280名
	《継続事業》 ボランティア活動者の確保と育成に努めます。					

事業名	災害ボランティアセンターの設置・運営 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">★ 重点事業</span>
事業概要	災害発生時に市災害対策本部及び関係機関・団体と連携し、被災者の支援ニーズとボランティア活動者を調整する中心的役割を担います。
目標の内容	《継続事業》 災害発生時に関係機関と連携・協力のもと災害ボランティアセンターを設置し、集まったボランティアを被災者のニーズに的確かつスピーディーに結び付け、災害ボランティアの支援体制の充実を図るとともに、より迅速かつ効果的に支援活動を展開し、市民の一刻も早い日常生活復帰を目指します。

事業名	災害時の支援体制づくり
事業概要	市防災訓練に参加し、関係機関や各マニュアルとの連携を深め、迅速な支援体制づくりを推進します。
目標の内容	《継続実施》 関係機関と連携し、災害時の支援体制の充実を図ります。 避難行動要支援者支援対応マニュアルや福祉避難所設置・運営マニュアルとも連携を図っていきます。

④ バリアフリーの推進

私たちが取り組むこと
○支援が必要な高齢者や障がい者への理解を深め、街なかの「バリア」を点検してみましよう。
○支援が必要な高齢者や障がい者への共感の気持ちを持ち、ボランティア活動に参加しましょう。
○様々な障がいへの理解を深め、障がい者と健常者との心のバリアフリーを考えてみましょう。

市が取り組むこと
○栃木県「ひとにやさしいまちづくり条例」に基づいた公共施設や公共交通機関等のバリアフリー化の推進
○高齢者や障がいのある人の移動手段の充実
○障がいのある人についてのパンフレット等の作成・配布による心のバリアフリーに関する啓発
○バリアフリーに関する学習の機会や情報の提供などの支援の実施



デマンドバス

**社会福祉協議会が取り組むこと**

- 誰もが安心して生活できるように福祉の観点からバリアフリーを推進し、安全な生活環境を整えます。

【具体的事業】

- 福祉マップの活用・マップの再検討と見直し
- 外出支援サービス（移送サービス事業）
- 点字・音訳による情報提供
- 福祉バスの運行

◎ 事業概要と目標の内容

事業名	福祉マップの活用・マップの再検討と見直し					
事業概要	高齢者・障がい者等の外出機会を促進し、誰もが安全・安心に生活するため、地域のバリアフリー情報等を掲載した福祉マップを積極的に周知するとともに、定期的な情報の更新に努め、マップの効果的な活用を図ります。					
目標の内容	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	再検討・改訂版の発行			再検討・改訂版の発行		
《継続事業》 福祉マップの積極的なPRと活用を図るとともに、適宜内容の再検討を行いながら改訂版を発行し、掲載内容の充実等に努めます。						

事業名	外出支援サービス（移送サービス事業）					
事業概要	交通機関を利用するのが困難な方に対し、居宅と市内の医療機関の送迎を行い、在宅福祉における利便性の向上を図ります。					
目標の内容 *年度ごとの 数値は延べ利 用者数です。	基準値	目標値				
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	88名	90名	92名	94名	96名	98名
《継続事業》 移動に困難を抱える人を支援します。						

事業名	点字・音訳による情報提供					
事業概要	視覚障がい者に対して、社会生活上必要な情報を点字図書、音訳CD及びデージー※ <sup>26</sup> により提供します。					
目標の内容	《継続事業》 視覚障がい者の社会参加を促すため、必要な情報の発信に努めます。					

事業名	福祉バスの運行					
事業概要	社会福祉協議会の活動と関係団体の福祉の向上を図ることを目的として、福祉バスの運行を行います。					
目標の内容	《継続事業》 移動が困難な方の身近な移動手段の確保に努めます。					

※ 26 視覚障がい者などに向け、音声で録音された図書などを作成するための規格。

◎ 生きがいづくりの支援

私たちが取り組むこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「生涯現役」の視点にたって、自分のできることを社会に活かしましょう。</li> <li>○職場での経験を活かして社会貢献活動をしてみましょう。</li> <li>○地域のなかで積極的にリーダーとなり、地域づくりをすすめましょう。</li> <li>○人材バンクやシルバー人材センターなどに積極的に登録しましょう。</li> <li>○地域の仲間と趣味やスポーツなどを楽しみましょう。</li> </ul>

市が取り組むこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>○老人クラブなど地域で活動する団体の育成支援</li> <li>○生涯にわたり学べる機会づくりの推進</li> <li>○市民がスポーツに親しみ、遊び、楽しむことができる環境づくりの推進</li> </ul>

社会福祉協議会が取り組むこと						
<p>■ 市民誰もが高齢になっても地域でいきいきと暮らすために、地域社会とかわりを持ち続けることなど、生きがいづくりを推進します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○老人クラブの加入促進</li> </ul> <p>◎ 事業概要と目標の内容</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">事業名</td> <td>老人クラブの加入促進</td> </tr> <tr> <td>事業概要</td> <td>老人クラブの活性化を図るため、市と連携しながら自治会等の関係機関に協力を依頼し、新規会員の加入促進に取り組みます。</td> </tr> <tr> <td>目標の内容</td> <td>《継続事業》 会員の確保に努めるとともに、老人クラブ活動の促進を図ります。</td> </tr> </table>	事業名	老人クラブの加入促進	事業概要	老人クラブの活性化を図るため、市と連携しながら自治会等の関係機関に協力を依頼し、新規会員の加入促進に取り組みます。	目標の内容	《継続事業》 会員の確保に努めるとともに、老人クラブ活動の促進を図ります。
事業名	老人クラブの加入促進					
事業概要	老人クラブの活性化を図るため、市と連携しながら自治会等の関係機関に協力を依頼し、新規会員の加入促進に取り組みます。					
目標の内容	《継続事業》 会員の確保に努めるとともに、老人クラブ活動の促進を図ります。					



## 基本目標3 地域福祉を推進するためのしくみづくり

### 基本的方向性

- すべての市民が必要な福祉情報を手にできるしくみ
- 福祉の人材を計画的に育成するためのしくみ

### (1) 現状と課題

- ・市の福祉サービスが「とても充実している」、又は「まあまあ充実している」と評価する人は6割以上で、前回の調査から大きく上昇しました。しかし、福祉サービスの情報を入手できている人は、「十分ではないが、入手できている」を合わせても3割程度しかいません。情報の入手ができていない理由として7割近くの人があげた、「どこで信頼できる情報を得たらよいかわからない」との意見にしっかりと応える情報提供のしくみづくりが必要です。
- ・多くの福祉団体で会員の高齢化や若手の後継者不足が問題となっています。住民懇談会においても、地域のリーダーやボランティアの役割の重要性とともに、その育成に課題があることが指摘されました。地域福祉を推進するために、人材の発掘や育成を組織的、計画的に行うしくみづくりが重要となっています。

### (2) 今後の取組

- ① 相談体制の充実

#### 私たちが取り組むこと

- 地域にある相談機関の役割や機能などに関心を持ちましょう。
- 地域の相談役(自治会長、自治会役員、民生委員・児童委員)に相談しましょう。
- 民生委員・児童委員、人権擁護委員、行政相談員など、地域の相談員を把握しましょう。
- 困ったときはお互い様と考え、近くの人に相談しましょう。

#### 市が取り組むこと

- 地域における相談窓口の周知と相談から適切なサービス利用に結びつく相談体制の充実
- 民生委員・児童委員の活動促進と地域での情報提供・相談体制の強化
- 生活困窮者自立支援事業の周知と相談支援体制の充実
- 高齢者の身近な相談窓口として地域包括支援センターの周知と相談体制の充実

**社会福祉協議会が取り組むこと**

■ 地域の中で誰もが必要な福祉サービス等を安心して利用できるよう、相談活動や情報提供の充実を図ります。

【具体的事業】

- 心配ごと相談所の開設（市受託事業）
- 無料法律相談事業の実施（市受託事業）
- ボランティアセンターにおける相談・情報提供
- 生活困窮者自立支援事業の実施（市受託事業）★重点事業
- 地域包括支援センター事業の実施（市受託事業）（再掲）

◎ 事業概要と目標の内容

事業名	心配ごと相談所の開設（市受託事業）
事業概要	市民の日常生活上の心配ごとへの相談に応じ、その問題の解決に努め、市民の福祉の増進を図ることを目的に実施します。
目標の内容	《継続事業》 更なる事業の普及や利用の促進を図るとともに、相談者が安心して利用できるような環境づくりに努めます。

事業名	無料法律相談事業の実施（市受託事業）
事業概要	市民の法律相談に応じ、その問題の解決に努めることにより市民の福祉の増進を図ることを目的に実施します。日常生活の様々な問題・トラブルについて、弁護士が相談に応じ助言等を行います。
目標の内容	《継続事業》 更なる事業の普及や利用の促進を図るとともに、相談者が安心して利用できるような環境づくりに努めます。

事業名	ボランティアセンターにおける相談・情報提供
事業概要	ボランティア活動に関する相談・活動紹介・情報提供を行い、地域住民の参加や活動を促進・支援していきます。
目標の内容	《継続事業》 ボランティアに関する情報提供や広報啓発活動に努めます。

事業名	生活困窮者自立支援事業の実施（市受託事業）★重点事業					
事業概要	複合的な課題を抱える生活困窮者の相談を受け、本人の状態に応じた自立支援を行うことで、困窮からの脱却を目指していきます。					
目標の内容 *年度ごとの 数値は相談利 用者数です。	基準値	目標値				
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	75名	80名	85名	90名	95名	100名
	《継続事業》 生活をする上での様々な問題を抱えた生活困窮者を生活保護に至る前の段階から早期に支援するため、本人の状態に応じた包括的・継続的な自立相談支援と家計相談支援を行います。相談員がどのような支援が必要かを相談者と一緒に考え、寄り添いながら自立に向けた支援を行っていきます。					

事業名	地域包括支援センター事業の実施（市受託事業）（再掲）
事業概要	地域で暮らす高齢者が安心して在宅生活が送れるよう支援するため、総合的な相談や助言、関係機関との連絡調整を行います。
目標の内容	《継続実施》 地域での活動を通して広報啓発に努めるとともに、様々な関係者と密接な連携を図っていきます。

◎ 広報・啓発活動の強化

**私たちが取り組むこと**

- 市、社協ホームページや広報紙、回覧板、その他の情報に目を通し、地域の「情報通」になりましょう。
- 地域の情報が届いていない人に、正確で役に立つ情報を伝えましょう。
- 井戸端会議の機会を多く作りましょう。
- 個人情報の保護について関心をもち、権利を守りましょう。
- 地域のすばらしい情報を SNS などで発信しましょう。
- 地域の団体の活動や情報を関係のある人へ届けましょう。
- 様々な活動について、市民芸術文化祭やしもつけふくしフェスタなどの機会でも PR しましょう。

**市が取り組むこと**

- 市ホームページや広報紙を通じた福祉に関する情報のわかりやすい提供
- 市民に見やすい、読みやすい紙面づくりの推進
- 市ホームページや広報紙の内容の充実
- テレビや新聞、インターネットなどの情報媒体の積極的な活用



下野市ホームページ



広報しもつけ



**社会福祉協議会が取り組むこと**

- より多くの市民が地域活動に参加できるよう、様々な方法で地域活動に関する広報・啓発活動を行います。

【具体的事業】

- 社協だより、ホームページによる情報発信
- 点字・音訳による情報提供（再掲）
- しもつけふくしフェスタの開催（再掲）

◎ 事業概要と目標の内容

事業名	社協だより、ホームページによる情報発信
事業概要	市民の地域福祉事業に対する理解や福祉活動への参加を得るため、積極的な広報・啓発活動を実施します。
目標の内容	《継続事業》 わかりやすい紙面づくり、魅力ある広報づくりに努め、地域福祉に関する更なる情報提供に努めます。

事業名	点字・音訳による情報提供（再掲）
事業概要	視覚障がい者に対して、社会生活上必要な情報を点字図書、音訳CD及びデイジーにより提供します。
目標の内容	《継続事業》 視覚障がい者の社会参加を促すため、必要な情報の発信に努めます。

事業名	しもつけふくしフェスタの開催（再掲）
事業概要	市民の地域福祉に対する理解を深め、人と人のふれあいの場を提供し、あたたかいまちづくりを目指して「しもつけふくしフェスタ」を開催し、ボランティア活動や社協事業等のPRを行います。
目標の内容	《継続事業》 イベント内容の充実や見直しを図りながら継続実施し、各種団体や市民に対し地域福祉への理解をより一層深めていきます。



社協だより

下野市社会福祉協議会ホームページ



◎ 福祉・人権教育の推進

**私たちが取り組むこと**

- 権利擁護<sup>\*27</sup>や福祉啓発講演会などに参加し、学習しましょう。
- 虐待防止法<sup>\*28</sup>や成年後見制度、日常生活自立支援事業などの仕組みを学習しましょう。
- 虐待には社会的な背景もあることから、早期発見の仕組みをつくりましょう。

**市が取り組むこと**

- 人権講演会、講座の開催と周知・PR
- 福祉意識の醸成を図るための効果的な意識啓発や広報活動の推進
- 福祉に関する学習機会の提供



ふくし移動講座（高齢者疑似体験）



ふくし移動講座（手話体験）

\*27 障がい者や認知症高齢者など、判断能力が十分でない人をサポートし守るための制度。

\*28 児童や高齢者、障がい者への虐待防止を目的とした法律。

**社会福祉協議会が取り組むこと**

- 市民が福祉や権利擁護について正しい知識を持ち福祉活動への参加意識を高められるよう、福祉・人権教育の推進を図ります。

【具体的事業】

- ふくし移動講座の開催
- 福祉活動助成事業（小・中・高等学校）
- 安全帽子の給付事業（小学校新入生）

◎ 事業概要と目標の内容

事業名	ふくし移動講座の開催					
事業概要	身近な地域や学校・企業等を対象に、地域福祉の理解や関心を高めるために福祉学習プログラムを提供します。					
目標の内容 *年度ごとの 数値は講座実 施回数です。	基準値	目標値				
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	50回	55回	58回	61回	64回	67回
	《継続事業》 福祉への理解を深めてもらうため、講座内容の一層の充実と周知に努めます。					

事業名	福祉活動助成事業（小・中・高等学校）					
事業概要	小・中学校と高等学校を対象に、福祉・ボランティア活動費を助成し、ボランティア活動の促進や福祉教育の推進を図ります。					
目標の内容	《継続事業》 市内の全小・中・高等学校に助成を実施し、児童・生徒に対する福祉教育の充実を図ります。					

事業名	安全帽子の給付事業（小学校新入生）					
事業概要	市立小学校の新入生を対象に、児童の交通安全・事故防止を目的として学校指定の安全帽子購入費用の助成を行います。					
目標の内容	《継続事業》 新入学児童へ安全帽子を支給し、将来を担う子どもたちの交通安全対策と健全育成の推進に寄与します。					

◎ 地域リーダーの育成

**私たちが取り組むこと**

- 地域のなかで積極的にリーダーになって、地域づくりをすすめましょう。
- 地域の様々な組織や団体の役員になって、地域づくりをすすめましょう。
- 地域行事や伝統行事などに参加し、地域づくりをすすめましょう。
- コミュニティ推進協議会・地区社会福祉協議会の組織づくりに参画しましょう。
- 地域のことに関心を持ち、どうしたらよいか常に考え、話し合しましょう。

**市が取り組むこと**

- リーダーの養成・研修機会の拡充
- 地域福祉を推進するリーダーの育成

**社会福祉協議会が取り組むこと**

- 住み慣れた地域でより安心して住み続けるため、地域住民が支え合う力を高めるために、地区社協組織における事業を展開し、地域活動の担い手とリーダーの発掘を推進します。

【具体的事業】

- 地区社協組織と地縁組織を活かしたリーダーの育成 ★ 重点事業

◎ 事業概要と目標の内容

事業名	地区社協組織と地縁組織を活かしたリーダーの育成 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">★ 重点事業</span>					
事業概要	きめ細やかな地域福祉活動が展開できるよう、地区社協の整備に取り組むとともに、様々な地域福祉活動の研修や実践を行い、地域リーダーとなる担い手の育成を推進します。					
目標の内容 *年度ごとの 数値は延べ受 講者数です。	基準値		目標値			
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	20名	40名	60名	80名	100名	120名
	《継続実施》 各種研修会等を実施し、適任者の発掘と養成を行っていきます。					

◎ ボランティアの育成

**私たちが取り組むこと**

- ボランティア養成講座などに積極的に参加しましょう。
- ボランティアセンターに相談するとともに、必要な活動情報の提供を受けましょう。
- 地域社会の課題や問題について関心をもちましょう。
- 地域課題や問題がどうしたら解決できるか、多くの人と話し合いましょう。
- 地域課題や問題に対して、私たちができることは何かを考えましょう。
- ボランティア活動として多くの仲間を募り、地域をつくっていきましょう。
- 活動の必要性をできるだけ多くの人に伝えましょう。

**市が取り組むこと**

- ボランティア及びボランティアコーディネーター\*<sup>29</sup>の育成強化
- 地域におけるボランティアコーディネーターの社会的役割の認知に向けた周知活動の推進
- 市民の生涯にわたる学習活動を総合的支援のためボランティア入門講座や各種指導者養成講座、スキルアップ講座などの学習機会の提供



ボランティア養成講座

\*<sup>29</sup> ボランティアをしたい人と受けたい人とをつなぐ役割を担っている人材。

### 社会福祉協議会が取り組むこと

- ボランティアを身近に感じる体制づくりや、ボランティアセンター機能を強化するとともに、地域活動のけん引役となるボランティアへの支援と活動の中心となるボランティアリーダーの育成に努めます。

#### 【具体的事業】

- ボランティアセンター機能の充実 **★ 重点事業**
- ボランティアの育成事業の実施
- 各種ボランティアリーダー育成講座の開催
- ボランティア活動保険の加入促進
- ボランティア連絡協議会への支援

#### ◎ 事業概要と目標の内容

事業名	ボランティアセンター機能の充実 <b>★ 重点事業</b>
事業概要	各種ボランティアの育成を目的とした研修・講座の開催や、ボランティア活動の支援、情報収集、広報啓発活動などを実施し、ボランティア活動を推進していきます。
目標の内容	《継続事業》 ボランティアに関する情報を発信するとともに、ボランティアの発掘や養成を推進し、ボランティアセンター機能の更なる充実を図ります。

事業名	ボランティアの育成事業の実施
事業概要	生涯学習情報センターと連携しながら、ボランティア活動、社会貢献活動の推進に努めます。
目標の内容	《継続事業》 地域で活動するボランティアの養成と支援に取り組みます。

事業名	各種ボランティアリーダー育成講座の開催
事業概要	様々なニーズに応じて、地域で主体となり活動できるボランティアリーダーの育成を目的とした各種講座を開催し、地域福祉の担い手を育成します。
目標の内容	《継続事業》 ボランティアリーダーの確保と育成に努めます。

事業名	ボランティア活動保険の加入促進
事業概要	ボランティア活動の際の思わぬ事故によるケガや損害賠償責任から活動者を守るため、ボランティア活動保険の加入を勧め、安心して活動ができるよう支援します。
目標の内容	《継続事業》 ホームページや広報紙で周知を図り、活動中の事故に備えた保険の加入を促進します。

事業名	ボランティア連絡協議会への支援					
事業概要	団体相互の連携と親睦を図り、地域福祉の発展に協力する協議会の支援を行います。					
目標の内容 *年度ごとの 数値は延べ登 録団体数です。	基準値	目標値				
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	15団体	16団体	17団体	18団体	19団体	20団体
	《継続実施》 団体間の連携・協働を深め、ボランティア活動の促進を図ります					



ボランティアビギナー講座



傾聴ボランティア講座

## 重点事業一覧 ☆ 市民の『幸福感』向上をめざす

### ○しもつけふくしフェスタの開催

事業概要	市民の地域福祉に対する理解を深めるため、人と人とのふれあいの場を提供し、あたたかいまちづくりを目指して「しもつけふくしフェスタ」を開催し、ボランティア活動や社協事業等の PR を行うとともに下野市の地域福祉活動のより一層の充実を図ります。					
目標の内容 *年度ごとの 数値は参加協 力団体数です。	基準値	目標値				
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	20団体	21団体	22団体	23団体	24団体	25団体
	《継続実施》 しもつけふくしフェスタ検討委員会で協議を深め、内容の充実や見直しを図りながら、参加者の満足度の向上を目指し魅力あるイベントとします。また、子どもからお年寄りまでの世代間交流や障がいを持つ人たちの心のふれあいを通じ、地域福祉に関する市民意識の高揚と思いやりの心の醸成を図ります。					

### ○三世代交流事業の実施

事業概要	地域住民がふれあいや交流の場を通して、日頃から顔見知りになり、お互いを支え合える地域づくりを進めます。					
目標の内容 *年度ごとの 数値は実施地 区社協数です (累計値)。	基準値	目標値				
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	0	1か所		2か所		3か所
	《継続実施》 平成 29 年度以降に設置を目指す地区社協の事業の一環として、世代を超えた心の交流を図り、地域においていざという時に助け合い、支え合うきっかけづくりを進めます。					

### ○地区社協を主軸とした地域コミュニティとの連携

事業概要	地域住民が主体となる地域福祉活動の推進を図る基礎組織である地区社協を整備し、地域の生活・福祉課題に対応できるしくみづくりを図るため、地域コミュニティを中心とした地区社協の設置を推進します。					
目標の内容 *年度ごとの 数値は設置地 区社協数です (累計値)。	基準値	目標値				
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	0	1か所		2か所		3か所
	《継続実施》 市民による自主的な福祉活動を推進するため、地域コミュニティと連携しながら、現在は未整備である地区社協を5年の計画期間で南河内・石橋・国分寺の3地区に1か所ずつ設置を目指します。					

○地域支援事業への取組（新規、市受託事業）

事業概要	地域包括ケアシステムの構築に向け、行政・関係機関との連携を図りながら、市民が主体となり地域福祉活動が展開できるよう組織づくりを推進するなど、地域で支え合える体制の整備に向けた取組を始めます。
目標の内容	《新規実施》 市と綿密な連絡調整を行いながら、円滑な事業実施を図ります。

○災害ボランティアセンターの設置・運営

事業概要	災害発生時に市災害対策本部及び関係機関・団体と連携し、被災者の支援ニーズとボランティア活動者を調整する中心的役割を担います。
目標の内容	《継続事業》 災害発生時に関係機関と連携・協力のもと災害ボランティアセンターを設置し、集まったボランティアを被災者のニーズに的確かつスピーディーに結び付け、災害ボランティアの支援体制の充実を図るとともに、より迅速かつ効果的に支援活動を展開し、市民の一刻も早い日常生活復帰を目指します。

○生活困窮者自立支援事業の実施（市受託事業）

事業概要	複合的な課題を抱える生活困窮者の相談を受け、本人の状態に応じた自立支援を行うことで、困窮からの脱却を目指していきます。					
目標の内容	基準値	目標値				
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	75名	80名	85名	90名	95名	100名
*年度ごとの数値は相談利用者数です。	《継続事業》 生活をする上での様々な問題を抱えた生活困窮者を生活保護に至る前の段階から早期に支援するため、本人の状態に応じた包括的・継続的な自立相談支援と家計相談支援を行います。相談員がどのような支援が必要かを相談者と一緒に考え、寄り添いながら自立に向けた支援を行っていきます。					



○地区社協組織と地縁組織を活かしたリーダーの育成

事業概要	きめ細やかな地域福祉活動が展開できるよう、地区社協の整備に取り組むとともに、様々な地域福祉活動の研修や実践を行い、地域リーダーとなる担い手の育成を推進します。					
目標の内容 *年度ごとの 数値は延べ受 講者数です。	基準値	目標値				
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	20名	40名	60名	80名	100名	120名
	《継続実施》 各種研修会等を実施し、適任者の発掘と養成を行っていきます。					

○ボランティアセンター機能の充実

事業概要	各種ボランティアの育成を目的とした研修・講座の開催や、ボランティア活動の支援、情報収集、広報啓発活動などを実施し、ボランティア活動を推進していきます。
目標の内容	《継続事業》 ボランティアに関する情報を発信するとともに、ボランティアの発掘や養成を推進し、ボランティアセンター機能の更なる充実を図ります。



災害ボランティアセンター設置訓練



